




2017年10月15日(日)
10～13時(開場9:30～)
申込不要 参加無料


豊富町定住支援センター
ふらっと☆きた
(多目的ホール)


地球環境基金助成事業「シンポジウム」


地域と自然のための風力発電とは

◇第一部：講演

 自然と地域と調和する自然エネルギーによる持続可能なエネルギー社会に向けて
(環境エネルギー政策研究所 所長 飯田哲也)

 風力発電を対象とした環境アセスメントにおける合意形成への課題
(東京都市大学 講師 北村 亘)

 風力発電計画と地域の自然環境
(サロベツ・エコ・ネットワーク 長谷部 真)

 景観と人の暮らし
(とんこり堂 稲垣 順子)

◇第二部：討論

コーディネーター：浦 達也

パネリスト：飯田 哲也・北村 亘
長谷部 真・稲垣 順子

コメンテーター：小杉 和樹

内容：会場の皆様からいただいた疑問や意見に対し、パネリストに回答をいただきながら、地域と自然のための風力発電とは何かについて、議論を深めていきます。

【主催・問い合わせ先】(公財)日本野鳥の会 自然保護室 主任研究員 浦 達也(うら たつや)
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23丸和ビル Tel:03-5436-2633

✉ :ura@wbsj.org

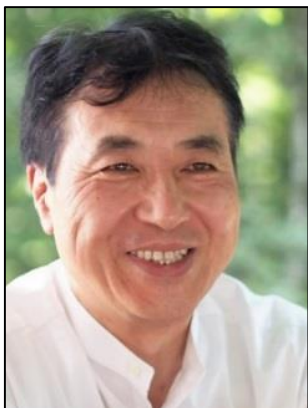
【共 催】日本野鳥の会道北支部

【協 力】NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

【助 成】(独)環境再生協会機構 地球環境基金



講演者プロフィール



飯田 哲也: 京都大学工学部原子核工学科、東京大学大学院先端科学技術研究センター博士課程単位取得満期退学。NPO法人環境エネルギー政策研究所所長、(株)日本総合研究所主任研究員、ルンド大学(スウェーデン)客員研究員。自然エネルギー政策を筆頭に、市民風車やグリーン電力など日本の自然エネルギー市場における先駆者かつイノベータとして、国内外で活躍している。中央環境審議会、総合資源エネルギー調査会、東京都環境審議会などを歴任。主著に『北欧のエネルギーデモクラシー』、共著に『自然エネルギー市場』(築地書館)、『光と風と森が拓く未来—自然エネルギー促進法』、『環境知性の時代』、訳書に『エネルギーと私たちの社会』など。



北村 亘: 東京都市大学 環境学部環境創生学科 講師。1979年、千葉生まれ。専門は行動生態学・保全生物学・鳥類学。国際基督教大学教養学部を卒業後、東京大学大学院農学生命科学研究科においてツバメの行動生態学を研究し、博士(農学)を取得。一般財団法人電力中央研究所特別契約研究員を経て、2013年4月より現職。NPO法人リトルターンプロジェクトの代表として絶滅危惧種コアジサシの保護活動を行い、また、Liferbird代表として鳥類研究の普及と発展を目指す活動を行っている。



長谷部 真: 明治大学卒業後、オーストラリアの大学院で保全生態学を学ぶ。2003年に環境調査会社に就職するために来道。自然保護の道にさらに邁進するため、2009年から北海道海鳥センターの自然保護専門員として天売島の海鳥の保護活動を行う。2015年からは豊富町のNPO法人 サロベツ・エコ・ネットワークでシマアオジや風車問題などの環境保全を担当する。北海道海鳥保全研究会の代表も務める。



稲垣 順子: 釧路市出身。利尻礼文国立公園パークボランティア。サロベツネイチャーゲームの会会員。サロベツの自然を通して人と自然の共生や人と地域の繋がりについて学ぼうと、通信制大学で共生科学を学んだ経験を持つ。幌延町の法昌寺では、小学生を中心に日曜学校を開催している。本堂でのお参りと法話の後は持参したお弁当をみんなで食べ、午後からはサロベツ原野を舞台に、ネイチャーゲームを通して子供たちが自然と一体になって遊び学ぶ時間を作り出すための活動をしてる。